

NEWS LETTER

No. 33
2023.09
SUMMER



山大JOINって何のこと?



「山形大学女性大学院生ネットワーク」の略称です。女性大学院生の仲間・先輩・後輩、そして夢へと「つなぐ(JOIN)」という意味が込められています。

女性研究者をめざす女性大学院生のネットワークを学内につくり、キャリア形成を支援するとともに、裾野拡大を推進することを目的として、平成30年度にスタートしました。

裾野拡大事業（小中高校生向け事業）や出前講座（進路学習・探究学習含む）への参加、企画および実施等、その他様々な活動を予定しており、文系・理系を問わず、本学女性大学院生であれば、誰でも登録できます。

先生方の研究室等で研究に励んでいる女性大学院生に、是非登録のお声がけをお願いします。



山大JOINメンバー博士後期課程3年 鈴木朝香さんに聞いてみました



Q1, 山大JOINに登録しようと思った理由は何ですか？

博士後期課程までくると同期だった人たちも大半が就職し、人との関わり自体が減ってきていると感じていました。そんなときにダイバーシティ推進室の柿崎先生から山大JOINについてお声がけいただき、新しい交友の機会を広げるチャンスだと思い登録しました。



鈴木 朝香さん

Q2, 山大JOINでどんな活動をしましたか？

研究との両立もあり密に活動できないことが多かったのですが、主に米沢興譲館高校での出前講義に参加させていただきました。理系志望の高校生たちから受験に向けた勉強や大学生活などについて質問を貰い、答えていくようなパネルディスカッションを行いました。

Q3, 活動を通じてのやりがいや楽しかったこと、メッセージ

出前講義を通じて、大学生活への期待感や不安、それに向けた受験準備など忙しくも充実した時間を過ごしているであろう高校生たちの疑問に答えていくのは楽しい時間であり、同時に懐かしさも感じられました。自分の高校時代を思い出し、当時自分が聞きたかったことは何だろう、かけてほしかった言葉は何だろうと意識して話すことでより深い交流にできたと感じています。ですが一番は堅く考えず、楽しみながら山大JOINの活動に参加することがなにより大切だと思います。

山大JOINについて



TOPICS
02

女性研究者からのメッセージ

The Message

人間（じんかん）万事塞翁が馬



宮城 敦子 先生
学術研究院 准教授
(農学部主担当)

「騙されたと思ってやってみるのよ。」これは、博士課程から所属した研究室の教授に言われた言葉である。当初、その研究室で進行中の研究をすべく博士課程に進学予定だったが、教授がその前年に富士山で見た貧栄養の火山灰土壌で繁茂するイタドリにいたく感動し、そのメカニズムを知りたい、そうだ今度来る院生にその研究をやらせよう、となり、誰も研究室で扱っていない植物での新規の研究テーマが降ってきたのである。教授曰く、腎結石の原因となるシュウ酸がイタドリの環境適応に役立つようだがそもそもシュウ酸の合成経路も未だ不明、この研究なら1年に1報論文を出せて3年で学位が取れるだろう、と。それは面白そう、ならば挑戦！と、そのテーマに飛びつき研究を始めた結果、イタドリではシュウ酸をあまり蓄積しないことが判明。当時学内に大量

に生えていた高シュウ酸植物エゾノギンギシに変更し、教授に言われるまま、いや自分でも工夫しながら実験を繰り返したものの当初は成果が全く出ず、留年後も論文は1報もなし。文字通り騙された感のある中、退学して技術補佐員としてメタボローム解析を軸に働きながら丸7年もかけて学位を取得した。当然、同期や後輩のほうが業績も多く先に学位を取得し就職。そんな中、共同研究者に助けられながらもめげずに業績を積み重ねたところ、あら不思議、今では「ギンギシの女王」「シュウ酸の女」と綽名される准教授である。本題も教授に頂いた格言。大変な状況に陥っても何が幸いに繋がるか分からないし、逆も然り。おかげさまで？現在は楽しく充実した教員生活を送れている。「人生、諦めが肝心」とも云うが、そうとは限らない旨、私の経験から伝えたい。

TOPICS
03

LGBTとは？



性的マイノリティーへの理解を促す「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」、いわゆる“LGBT理解増進法”が、今年6月23日に公布・施行されました。

最近よく耳にするようになった「LGBT」とは、一体何のこと？「聞いたことはあるけど、よくわからない」「今更聞けない」という人も多いのでは？

L (レズビアン)
Lesbian

性自認が女性で、性的指向が女性に向く人

G (ゲイ)
Gay

性自認が男性で、性的指向が男性に向く人

B (バイセクシュアル)
Bisexual

異性にも同性にも性的に魅力を感じる可能性がある人

T (トランスジェンダー)
Transgender

出生時に登録された性別とは異なる性を生きている(生きようとする)人

性的マイノリティには、LGBT以外にも様々なあり方があります。最近ではLGBTQ、LGBTQ+などの表現も使われることがあります。

山形大学の多様な性に関するガイドラインはこちら ▶



ダイバーシティ推進室からのお知らせ

- 『報告』
- ・令和5年4月ダイバーシティ推進室のホームページがリニューアルされました！
 - ・令和5年5月16日に「山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー～『男性の育休』をめぐるあれこれ～」を開催しました。
 - ・令和5年6月23日～6月29日男女共同参画及びダイバーシティフェスタ2023（パネル展示）を開催しました。
 - ・研究中断からの復帰支援制度を新設しました。
 - ・男女共同参画及びダイバーシティ推進に係る表彰制度を新設。自薦・他薦を問わず、只今募集中です。（締切10月10日）
- 【ご案内】
- ・令和5年10月29日「第2回やまがたカラフルパレード」開催されます。
 - ・おしゃべりしながら、ホッとできる場所として「女性研究者の集い」を2か月に1回開催しています。

山形大学ダイバーシティ推進室

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12
023-628-4937/4939

E-mail yu-y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
URL <https://www.diversity.yamagata-u.ac.jp/>

